

二級
木造 建築士免許申請書

※受付欄		※登録番号		第 号	
		※登録年月日		年 月 日	
私は、二級木造 建築士の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しを添え、申請します。					
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。					
年 月 日					
福井県指定登録機関 氏名					
一般社団法人福井県建築士会会長 様					
ふりがな		生年月日		性別	
氏 名		年 月 日 生		男□ 女□	
本 籍				写真	
現 住 所		電話		(1)縦 4.5cm×横 3.5cm の写真の裏面に氏名および撮影年月日を記入してのりで貼り付けてください。	
試 験		二級建築士試験または木造建築士試験に合格した年		年	
		合格通知書 日 付		合格番号	
		年 月 日		号	
登録申請区分		□ 1 学歴のみ □ 2 学歴+建築実務 □ 3 建築実務のみ □ 4 建築設備士 □ 5 建築士法第 4 条 5 項			
1 学歴により申請する場合のみ記入		学校名		学部名・学科名	
				入学・卒業(修了)年月	
				年 月入学 年 月卒業(修了)	
				年 月入学 年 月卒業(修了)	
2 学歴+建築実務により申請する場合のみ記入		学校名		学部名・学科名	
				入学・卒業(修了)年月	
				年 月入学 年 月卒業(修了)	
				年 月入学 年 月卒業(修了)	
3 建築実務のみにより申請する場合のみ記入		建築実務経験期間の合計		年 月	
4 建築設備士により申請する場合のみ記入		登録番号		第 号	
		建築設備士登録番号・登録年月日		登録年月日 年 月 日	
5 建築士法第 4 条第 5 項により申請する場合のみ記入		免許名称		免許者名	
				免許の年月日	
				資格認定書の年月日	
				年 月 日	
				年 月 日	

(裏面)

欠 格 事 由	1 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪および刑 あるときはその刑の執行を終わり、または執行を受けることが なくなった日	ある ☐ ない ☐ 年 月 日
	2 建築士法の規定に違反して、または建築物の建築に関し罪を犯して 罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪および刑 あるときはその刑の執行を終わり、または執行を受けることが なくなった日	ある ☐ ない ☐ 年 月 日
	3 建築士法第9条第1項第4号または第10条第1項の規定により 一級建築士、二級建築士または木造建築士の免許を取り消された ことがありますか。 あるときは、その日	ある ☐ ない ☐ 年 月 日
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、 その停止の期間中に同法第9条第1項第1号の規定により 一級建築士、二級建築士または木造建築士の免許を取り消された ことがありますか。 業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止の期間	ある ☐ ない ☐ 年 月 日から 年 月 日まで
	5 精神の機能の障害により二級建築士または木造建築士の業務を 適切に行うに当たって必要な認知、判断および意思疎通を 適正に行うことができない状態ですか。	はい ☐ いいえ ☐
手数料振込受付証明書貼付欄 ※この枠内に貼付して下さい。 ※貼る前に必ずコピーをとり保管しておいてください。		
※審 査		

- 注 1 数字は、算用数字を用いてください。
2 ※欄は記入しないでください。
3 ☐ のある欄は該当する ☐ の中にレ印を付けてください。

以下の事項は、円滑な登録実施のために必要となりますので、記入にご協力ください。

告示等に基づく学歴等区分 (登録申請時)	☐ 5 0 大学・短大・高専卒 40 単位	☐ 5 1 職能大(短大)卒 40 単位	☐ 5 2 大学・短大・高専・ 職能大等卒 30 単位	☐ 5 3 大学・短大・高専・ 職能大等卒 20 単位
	☐ 5 4 高校・中学卒 20 単位	☐ 5 5 高校・中学卒 15 単位	☐ 5 6 専修(高校卒) 2 年以上 40 単位	☐ 5 7 専修(高校卒) 2 年以上 30 単位
	☐ 5 8 専修(高校卒) 1 年以上 20 単位	☐ 5 9 専修・職訓校(中学卒) 2 年以上 15 単位	☐ 6 0 専修・職訓校(中学卒) 1 年以上 10 単位	☐ 6 1 職訓校(高校卒) 3 年以上 30 単位
	☐ 6 2 職訓校(高校卒) 1 年以上 20 単位	☐ 6 3 職訓校(中学卒) 3 年以上 20 単位	☐ 6 4 実務経験	☐ 6 5 その他 (建築設備士等)